第17回都市計画審議会説明（資料概要）

資料3関係

都市計画マスタープラン改定スケジュール等

1 審議会

都市計画行政の円滑な運営を図るため、都市計画法に基づき設置。

2 所掌事務

市長の諮問に応じ、市が定める都市計画に関する事項などのほか、市長が都市計画上必要と認める事項について審議します。

3 都市計画マスタープラン

○都市計画法

（市町村の都市計画に関する基本的な方針）

第１８条の２第１項　市町村は、議会の議決を経て定められた当該市町村の建設に関する基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、当該市町村の都市計画に関する基本的な方針を定めるものとする。

○都市再生特別措置法

（立地適正化計画）

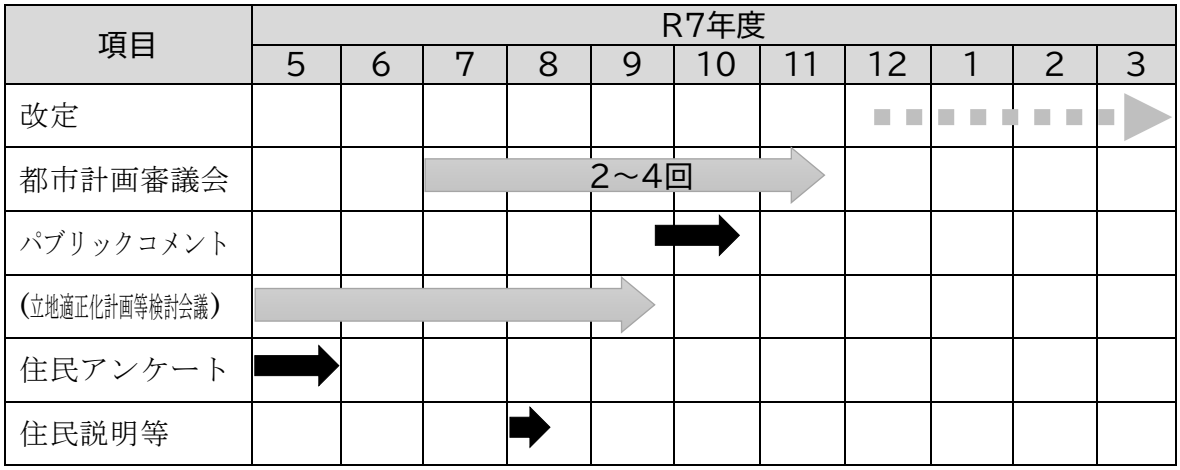
第８１条第１項　市町村は、単独で又は共同して、都市計画法第４条第２項に規定する都市計画区域内の区域について、都市再生基本方針に基づき、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図るための計画を作成することができる。

（都市計画法の特例）

第８２条　前条第２項第１号に掲げる事項が記載された立地適正化計画が同条第２３項の規定により公表されたときは、当該事項は、都市計画法第１８条の２第１項に規定により定められた市町村の都市計画に関する基本的な方針の一部とみなす。

※かっこ書等を省略

3 検討スケジュール



資料4関係

資料4 P1

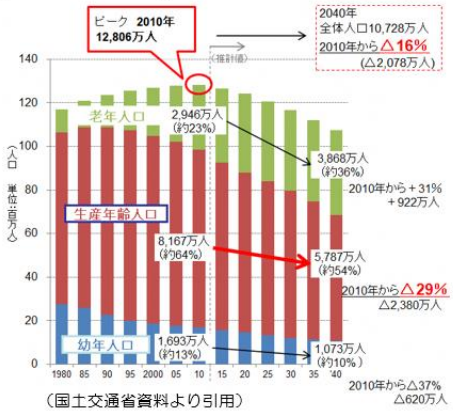
1．これからのまちのかたちづくりについて

課題

- 日本全体の人口が2010年をピークに減少傾向
- 老年人口が2040年には約4割になる見込
- 医療や福祉、商業、公共交通などの生活を支える様々なサービスの維持が困難

⇒2014年　都市再生特別措置法の改正（立地適正化計画制度の創設）
　　居住機能、都市機能のまちなかへの誘導、
　　持続可能な公共交通ネットワークの形成の推進

全国の人口動態



（国土交通省資料より引用）

立地適正化計画イメージ

（国土交通省資料より引用）

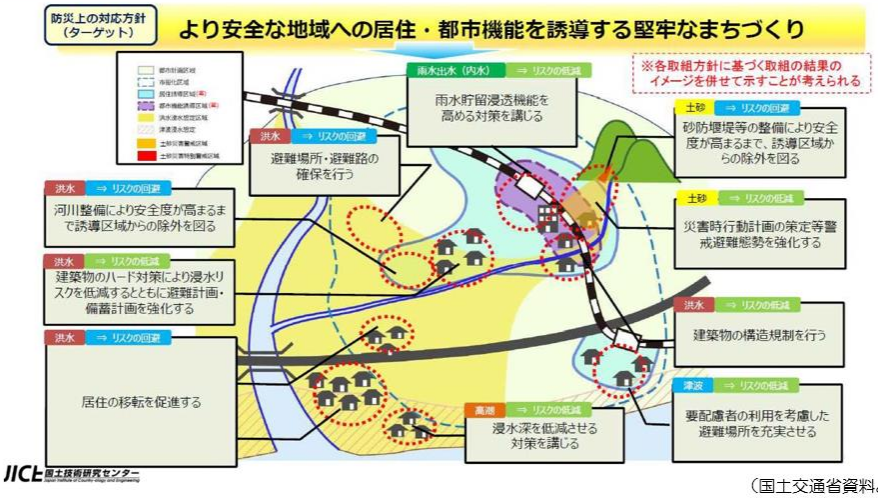
1

資料4 P2

（防災）　災害リスクの回避・リスク低減の取組方針を検討

【災害リスクの回避】
- 災害ハザードエリアにおける立地規制、建築規制

【災害リスクの低減】
- 居住誘導区域等における安全を確保するためのハード、ソフトの防災・減災対策



（国土交通省資料より引用）

2

資料4 P3

意義

○一定の人口密度などに支えられてきた医療、福祉、商業などの都市機能を将来の人口減少・少子高齢化が進む中でも持続的に確保する

○若者にとっても、高齢者にとっても、安心できる快適な生活環境を実現する

○財政面においても持続可能な行政運営を実現する　など

位置付け

○「市町村都市計画マスタープランは、都市全体を見渡した都市計画の基本方針」

○居住機能や医療、福祉、商業、公共交通などの都市機能の誘導により、多極ネットワーク型のまちづくりを推進するためのアクションプラン

第３次市総合計画
府区域マスタープラン

↓ 即す

都市計画マスタープラン
（＋立地適正化計画）

総合計画に掲げる都市機能構想に基づくまちづくりを推進するため、「立地適正化計画」の考え方を都市計画マスタープランに組込む

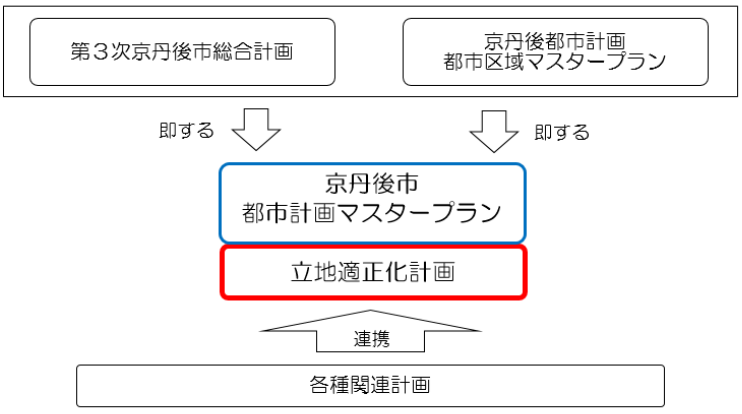
3

資料4 P5

３．都市計画マスタープラン、立地適正化計画とは

市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市計画マスタープラン）	立地適正化計画
都市計画法第18条の２	都市再生特別措置法第84条
○計画期間　令和8（2026）年～令和17（2035）年 ○計画対象区域　京丹後市全域	

計画の位置づけ



5

資料5関係

策定項目(イメージ)

序章　計画の主旨

1　計画の目的

2　計画の位置づけ

3　計画期間と対象区域

4　計画の構成

第１章　現況と動向

1.上位・関連計画の整理

2.市の概況

3.市民アンケート結果の概要

4.都市づくりの課題

第２章　全体構想

2-1　都市の将来像

1.基本理念

2.都市の将来像

3.将来人口

4.将来都市構造

2-2　都市づくりの方針

1.土地利用の方針

2.拠点の方針

3.軸の方針

（1）道路の方針

（2）公共交通の方針

4.生活環境の方針

(1)公園の方針

(2)上下水道・河川の方針

(3)その他公共施設の方針

(4)住宅地・集落地の方針

5.防災の方針

6.自然・景観の方針

(1)地域環境の方針

1)地域資源の保全・活用の方針

2)環境保全の方針

(2)景観の方針

第3章　地域別構想

3-1　地域区分の考え方と設定

3-2　地域づくりの方針

1.峰山地域

2.大宮地域

3.網野地域

4.丹後地域

5.弥栄地域

6.久美浜地域

第4章　計画実現に向けた方策

1.協働のまちづくりによる計画の実現

2.計画の進行管理と計画の見直し

立地適正化計画関係分野項目

資料6関係

(現行)都市計画マスタープラン(概要)

資料6 P1

Ⅲ. 都市計画マスタープランの目標

都市将来像　人と経済・文化が交流する　活力あふれる北近畿の拠点都市

4つの視点

しごとの基盤づくり	くらしの基盤づくり
交流の基盤づくり	安全・安心の基盤づくり

将来都市構造のあり方

【軸】	【ゾーン】	【拠点】
広域連携軸　地域連携軸	都市活動ゾーン　保全・共生ゾーン	都市拠点　地域拠点

Ⅳ. まちづくりの基本方針

資料6 P2

1. 広域幹線道路や鉄道などの整備効果を活かし、人と経済・文化の交流を促進させる(軸の形成)
   - ① 山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化
   - ② 地域内道路ネットワークの強化
   - ③ 公共交通の利便性の向上
2. 職住近接の利便性の高い都市環境を築くとともに、人と水とみどりの共生する環境を実現させる(ゾーンの形成)
   - ① 用途地域の指定などによる地域活性化
   - ② 魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全・共生
   - ③ 公園・緑地等の整備による生活環境の向上
   - ④ うるおいのある住環境の整備
   - ⑤ 安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上
3. 広域連携・交流の拠点を整備するとともに、市民生活を支える地域振興機能を充実させる(拠点の形成)
   - ① 国道312号と国道482号沿いにおける商業・交流機能の向上(都市拠点)
   - ② 駅と市街地における観光・交流機能の向上(地域拠点)

資料6 P3

Ⅴ. 地域別都市整備方針

1. 峰山地域
2. 網野地域
3. 大宮地域

資料7関係

（現行）都市計画マスタープランの進捗状況

区分	基本方針		進捗	今後の主な取組等
軸の形成	（1）山陰近畿自動車道による広域道路ネットワークの強化	●山陰近畿自動車道（仮）網野ＩＣまでの早期事業化	継続	国等への要望を継続
		●（仮）網野ＩＣから久美浜までの区間の早期ルートの決定促進	継続	
		●都市拠点構想に即したＩＣアクセス道路計画	継続	
		●２車線区間となる山陰近畿自動車道の速度低下対策	継続	国等への要望を継続
	（2）地域内道路ネットワークの強化	●京丹後大宮ICの供用を踏まえた国道312号の渋滞緩和対策	継続	国等への要望を継続
		●主要地方道網野峰山線のリダンダンシー(替性)確保	継続	府に早期実現を要望
		●都市交通の発展と歩行者の安全確保などを踏まえた都市計画道路の整備	―	長期未着手の都市計画道路を見直しの検討
	（3）公共交通の利便性の向上	●鉄道を基軸とした地域の活性化に結びつく公共交通ネットワークの構築	継続	公共ライドシェアの全市域展開、自動運転バスなど多様なモビリティの活用やMaaSの可能性を検討
		●交通弱者である高齢者等への買物・通院難民対策としての取り組み	継続	
		●都市機能の集積効果を高める駅やバスターミナルの整備	―	都市拠点へのアクセス等を高めるため、京都府及びＫＴＲ等と新駅の位置などについて意見交換等を行う
ゾーンの形成	（1）用途地域の指定などによる地域活性化	●駅周辺の活性化と、国道沿道での商業集積の誘導	継続	立地適正化計画とあわせて用途地域等指定の必要性を検討
		●産業振興を通じた地域雇用の維持と拡大の推進	継続	
		●住宅や工場などの混在による居住環境の悪化を未然に防ぐ	継続	
		●行政サービスの効率化、利便性の向上	継続	峰山・大宮庁舎の改修(R8年度)完成予定）
		●既存市街地における工業機能と居住地の共生	継続	立地適正化計画とあわせて用途地域等指定の必要性を検討
	（2）魅力的な都市景観の形成と自然環境の保全・共生	●古代丹後の輝かしい歴史・文化資産の保全と活用	継続	「京丹後市文化財保存活用地域計画」を策定、
		●旧来のまちなみを活用した新たな観光の拠点づくり	継続	散策マップの作成、多言語化を推進
		●都市景観の形成によるまちの魅力の創出	継続	久美浜一区の取組を継続
		●優れた自然環境の保全と共生	継続	農業用施設防災減災事業を推進
	（3）公園・緑地等の整備による生活環境の向上	●都市公園の利便性を高める新たな機能整備	**完了見込**	途中ケ丘公園東側駐車場整備はR7完了予定　など
		●快適で憩いのある生活空間の形成	―	既存都市公園等による憩いの場を形成している
		●網野銚子山古墳の史跡を活かした取り組み	**完了**	古墳を活用した取組を推進
	（4）うるおいのある住環境の整備	●下水道事業等の推進による河川や水路の水質保全及び住環境の改善	継続	事業区域についてR12年度完成を予定
		●公営住宅の老朽化による集約や計画的な建替	継続	周枳団地の一部撤去
		●ユニバーサルデザインに配慮した歩行者ネットワークの構築	―	最適な公共施設の整備、持続可能な施設管理について継続的に検討
	（5）安全安心なまちに向けた防災基盤や都市施設の整備による都市機能の向上	●防災基盤の整備による災害に強いまちの構築	継続	福田川河川改修事業は府により継続整備
		●内水対策事業の早期完了と事業者や住民による自助の取り組み	継続	小栓川雨水幹線の継続整備
		●災害時や緊急時における、ヘリコプターの場外離着陸場の確保	継続	場外離着陸場整備に向けた、候補地の調査及び検討
拠点の形成	（1）国道312号と国道482号沿いにおける商業・交流機能の向上【都市拠点】	●だれでも立ち寄れ、市内情報が得られる拠点づくり	継続	山陰近畿自動車道の休憩施設整備に向けた検討
		●文化、芸術活動による交流を促す拠点づくり	継続	都市拠点公共施設整備基本計画に基づく公共施設整備
		●都市のにぎわいとゆとりを創出する拠点づくり	継続	
	（2）駅と市街地における観光・交流機能の向上【地域拠点】	●駅の機能向上と合わせた周辺整備と施設の段差解消	継続	Wi-Fiや多言語表示など待合施設の環境整備を実施予定
		●駅周辺から観光資源への周遊を促す取り組み	継続	レンタサイクル、e-bikeを運用

資料8関係

京丹後市の現状と課題概要

資料8 P2

1．人口　（将来推計）

- 令和27（2045）年の推計人口は、令和2年（2020年）から約4割減の3.2万人
- 生産年齢人口は約1.2万人の減少、高齢化率は今後も上昇の見込み。

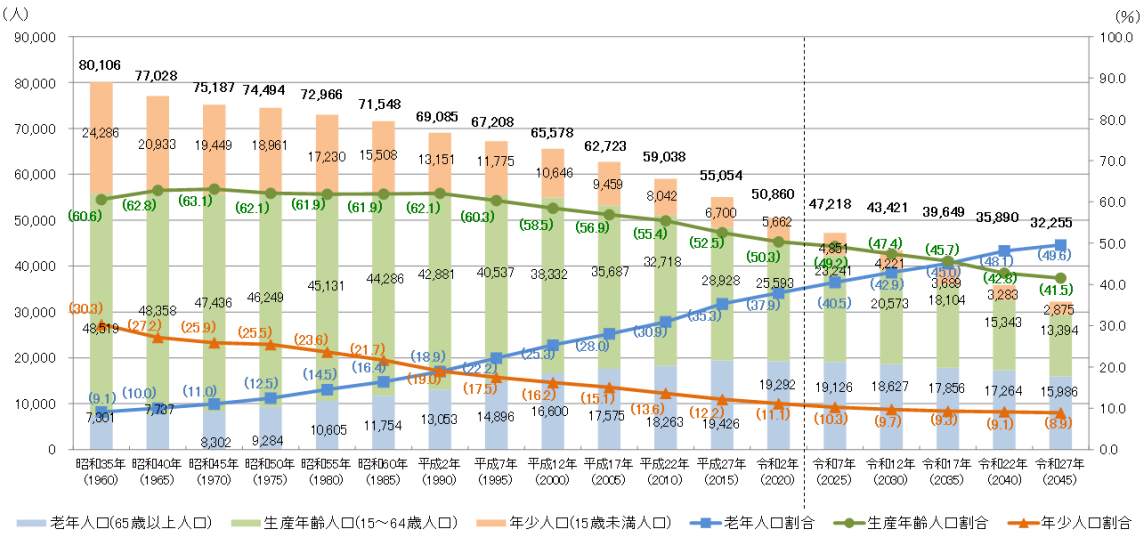


図　総人口及び年齢３区分人口の推移と見通し

出典：国勢調査（令和7年以降は国立社会保障人口問題研究所による推計値）

資料8 P6

3．人口　（人口密度将来推計（100mメッシュ））

拠点付近拡大図

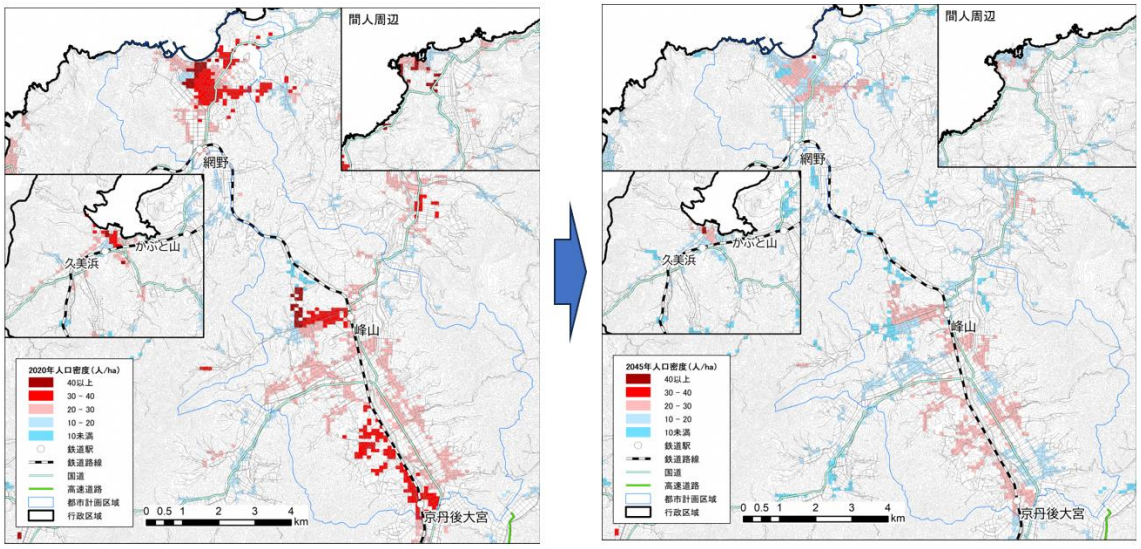


図　2020年人口密度　100mメッシュ

図　2045年人口密度　100mメッシュ

資料8 P8

1．人口　（人口動態）

- 自然増減、社会増減は、ともに一貫してマイナス。
- おおむね令和元年以降、自然減は拡大傾向、社会減は横ばい傾向。

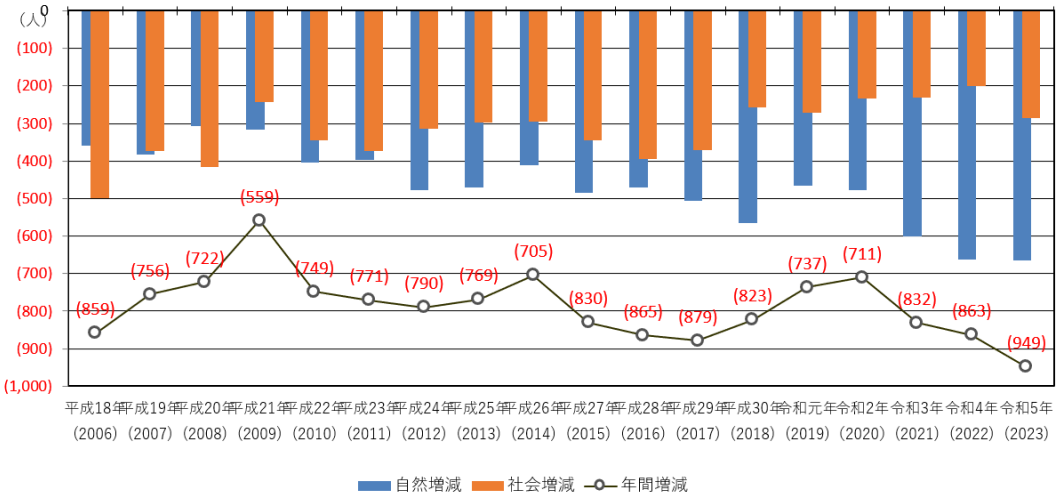


図　人口動態の推移

出典：京丹後市統計書

資料8 P9

1．人口　（通勤通学）

- 通勤・通学先は、府外が4.2%（豊岡市3.6%）、府内の与謝野町が3.0%、宮津市が2.8%。
- 本市への通勤・通学は、与謝野町からが3.8%、府外からが1.6%。
- 主に隣接する与謝野町や宮津市、府外（豊岡市等）に相互に行き来している。市外に通勤・通学している人の方がやや多い。

総数		31,049	100.0%
	自市内	26,061	83.9%
	他府県	3,917	12.6%
	府内	2,428	7.8%
	与謝野町	933	3.0%
	宮津市	881	2.8%
	福知山市	266	0.9%
	舞鶴市	170	0.5%
	京都市	81	0.3%
	府外	1,290	4.2%
	豊岡市	1,112	3.6%
	不詳	178	0.6%
	不詳	1,071	3.4%

図　通勤・通学の流出状況

総数		29,680	100.0%
	自市内	26,061	87.8%
	他府県	2,370	8.0%
	府内	1,894	6.4%
	与謝野町	1,125	3.8%
	宮津市	393	1.3%
	福知山市	107	0.4%
	舞鶴市	81	0.3%
	京都市	61	0.2%
	府外	476	1.6%
	豊岡市	324	1.1%
	不詳	1,249	4.2%

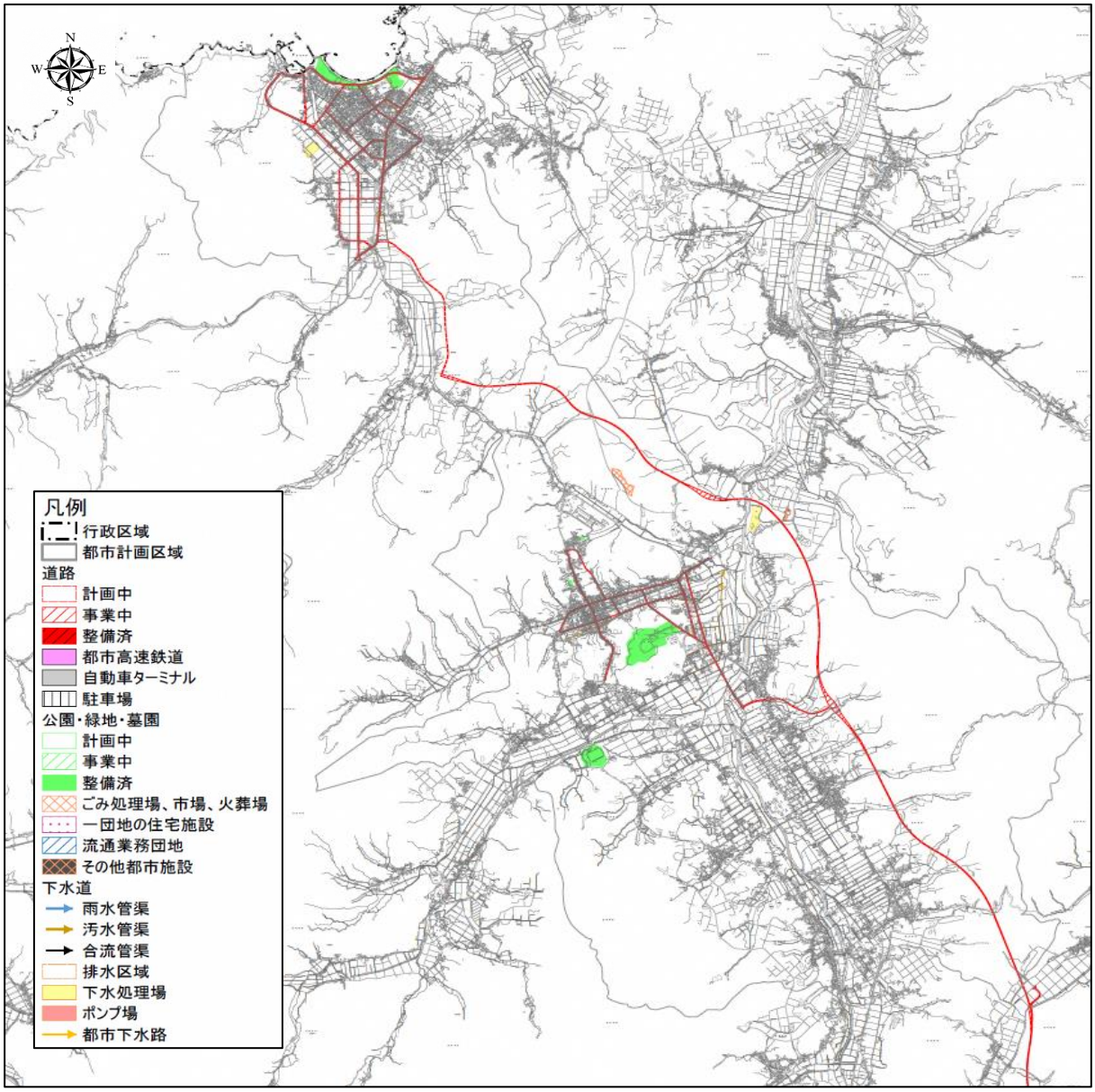
図　通勤・通学の流入状況

出典：国勢調査（R2）
※他府県の自治体は50人以上を記載

資料8 P18

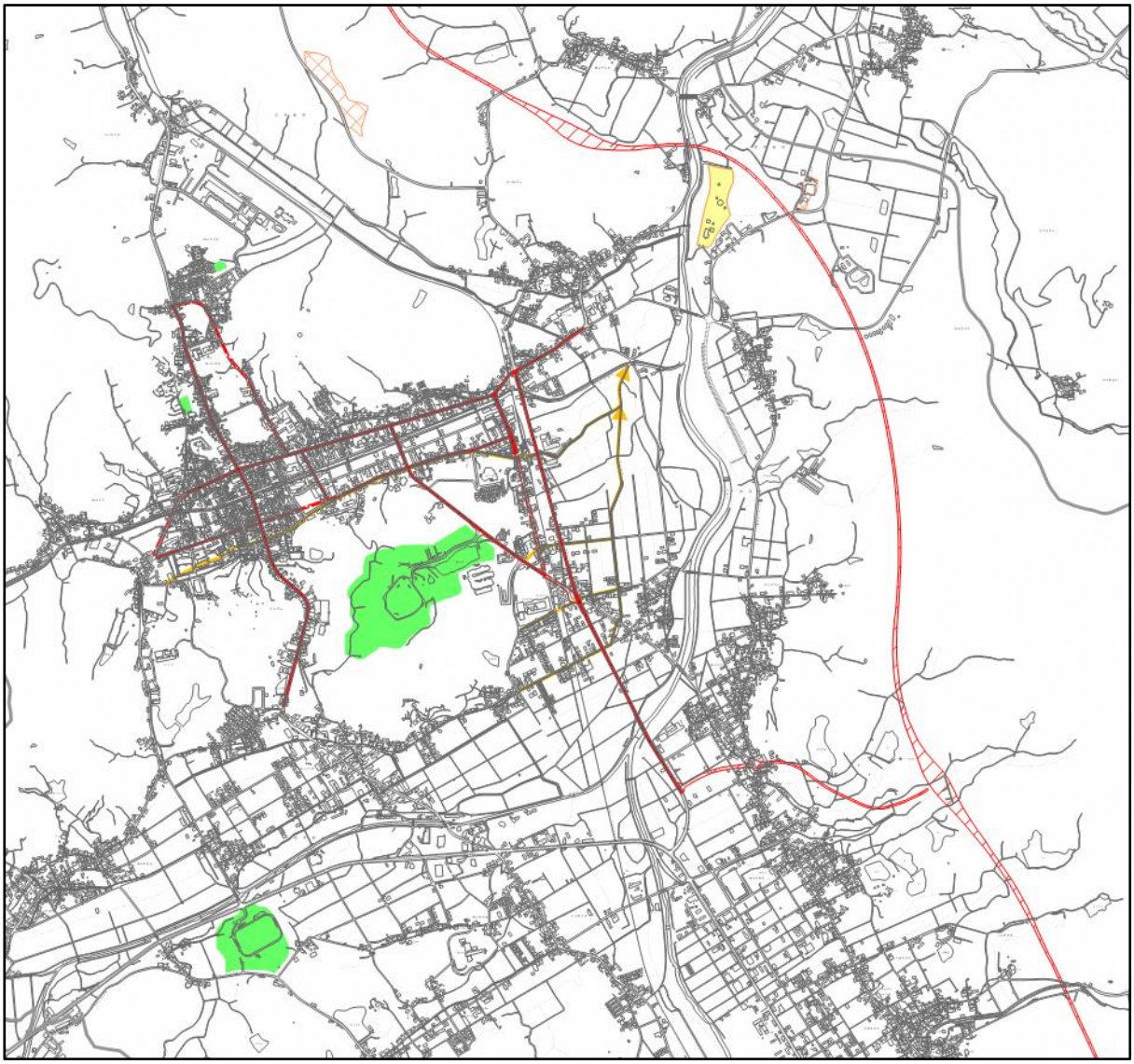
5．都市施設

- 道路、公園、下水道等の都市施設の整備状況



資料8 P19

5. 都市施設-峰山地区-



凡例

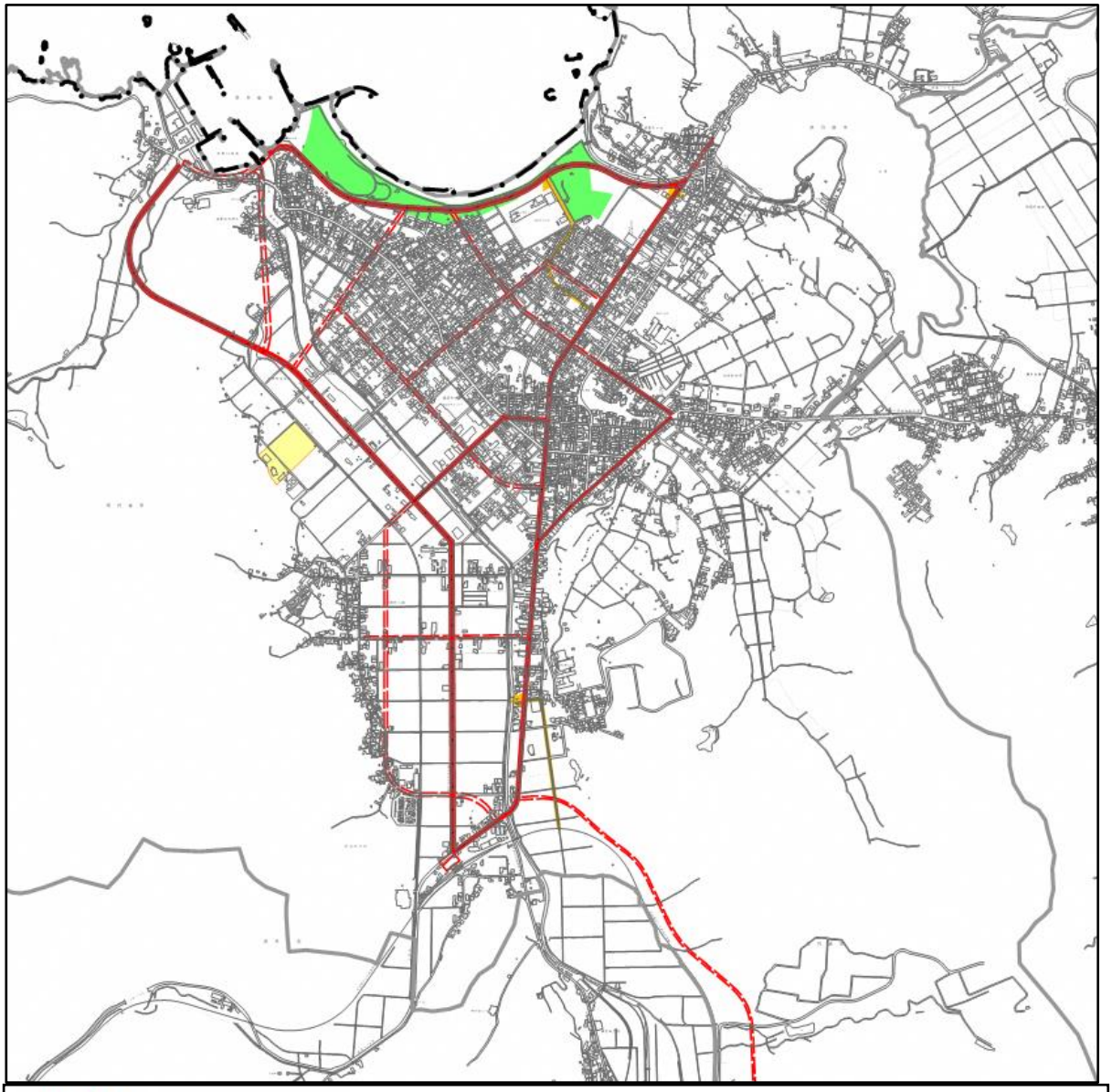
行政区域
都市計画区域
道路
計画中
事業中
整備済
都市高速鉄道
自動車ターミナル
駐車場

公園・緑地・墓園
計画中
事業中
整備済
ごみ処理場、市場、火葬場
一団地の住宅施設
流通業務団地
その他都市施設

下水道
雨水管渠
汚水管渠
合流管渠
排水区域
下水処理場
ポンプ場
都市下水路

資料8 P20

5. 都市施設-網野地区-



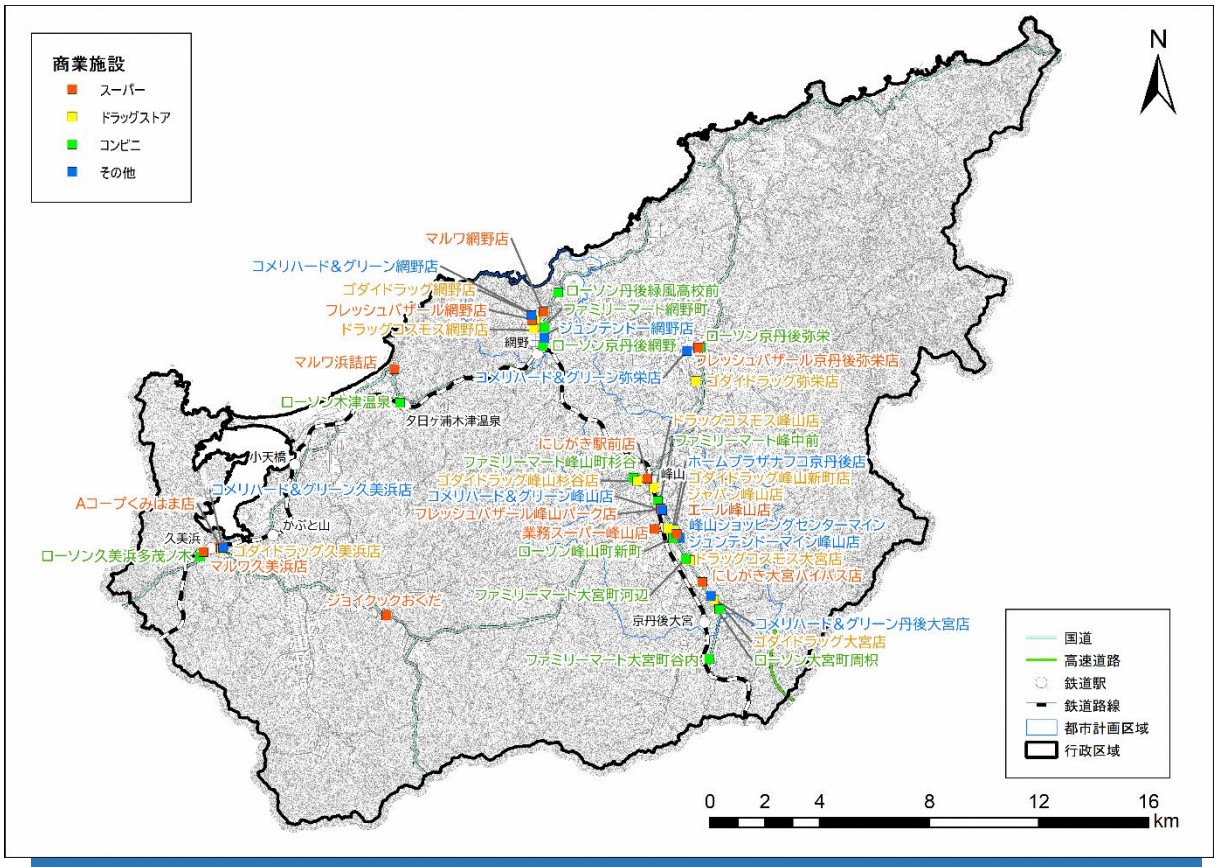
凡例

行政区域
都市計画区域
道路
計画中
事業中
整備済
都市高速鉄道
自動車ターミナル
駐車場

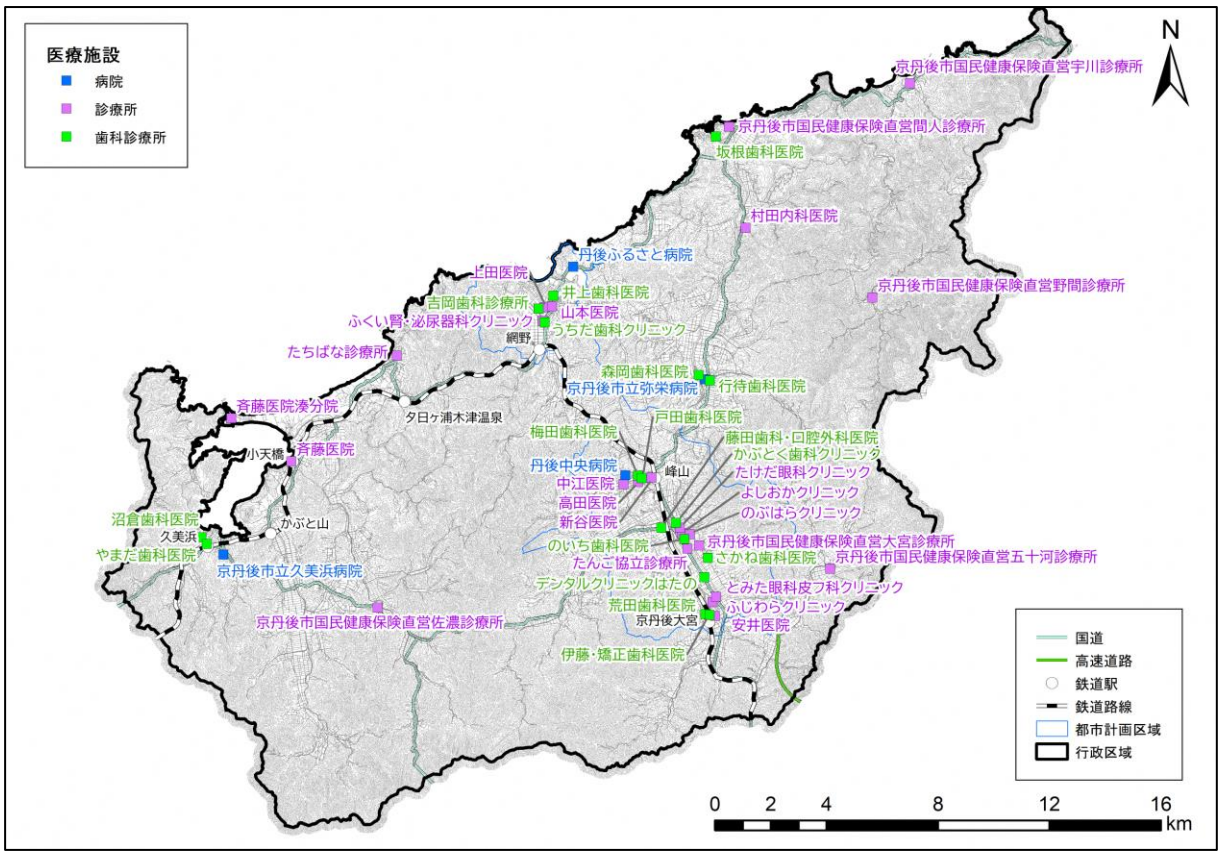
公園・緑地・墓園
計画中
事業中
整備済
ごみ処理場、市場、火葬場
一団地の住宅施設
流通業務団地
その他都市施設

下水道
雨水管渠
汚水管渠
合流管渠
排水区域
下水処理場
ポンプ場
都市下水路

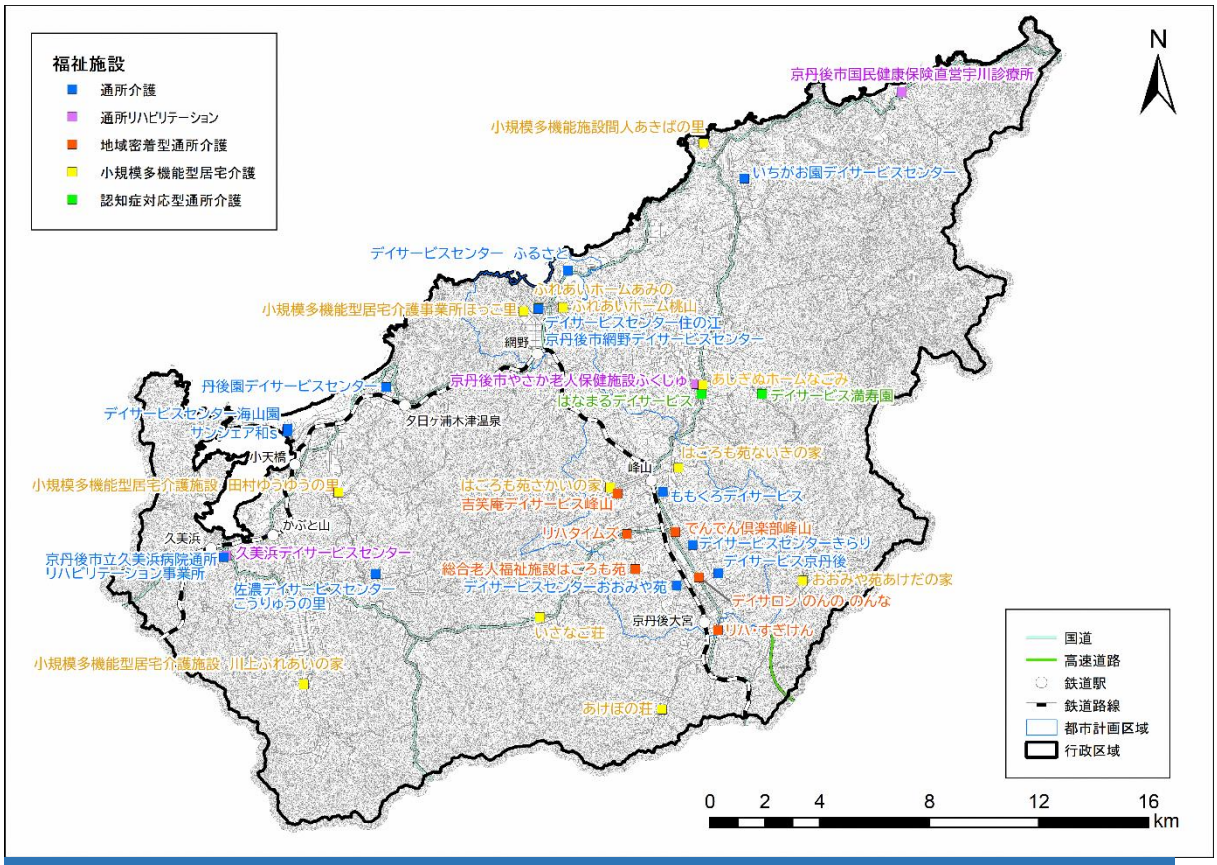
7．都市機能（商業施設）　資料8　P29



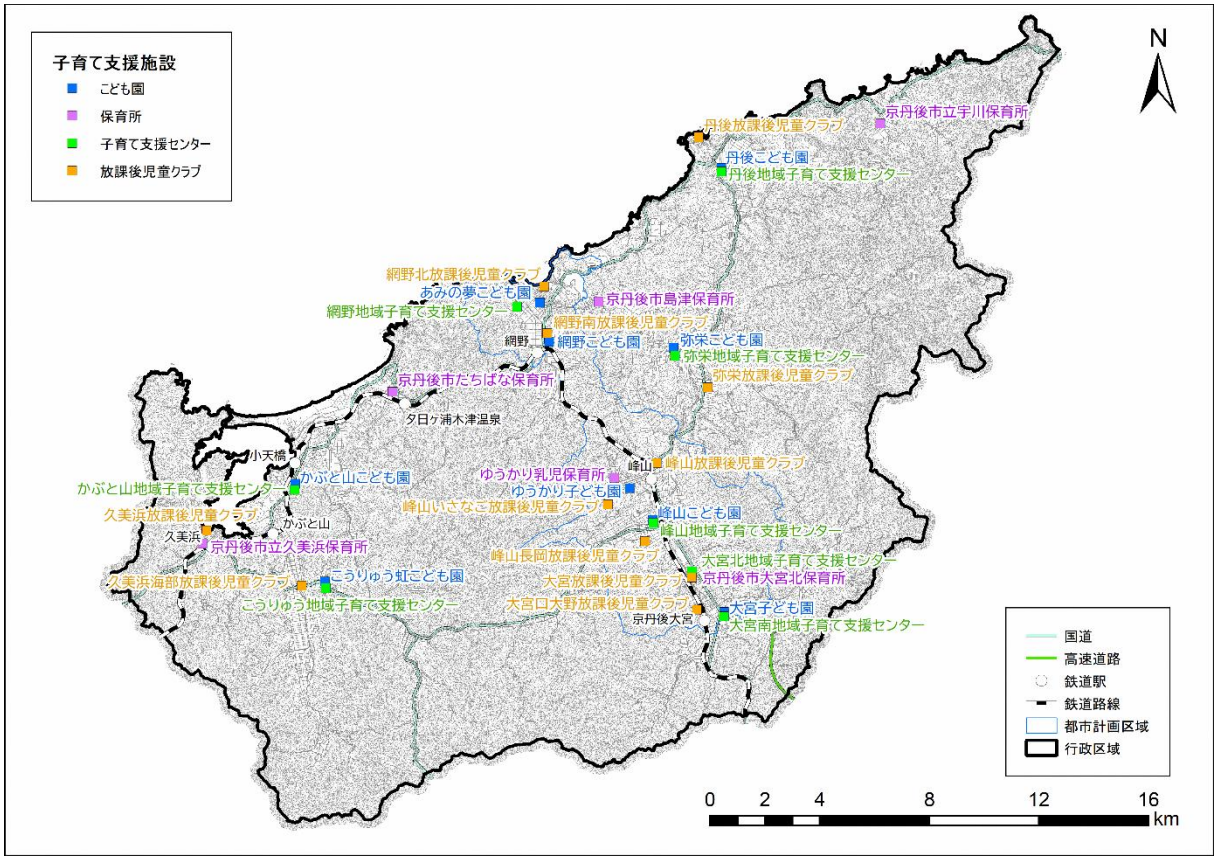
7．都市機能（医療施設）　資料8　P32



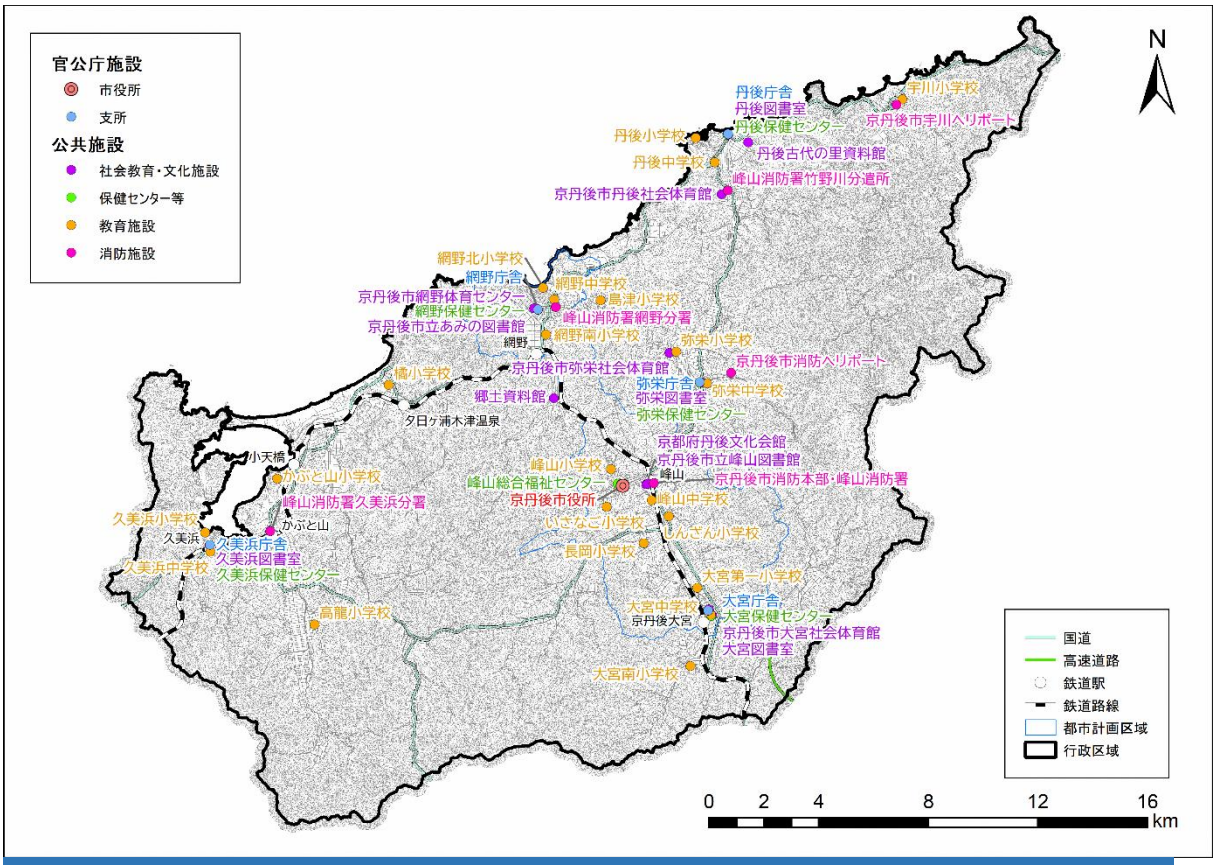
7．都市機能（高齢者福祉施設）　資料8　P34



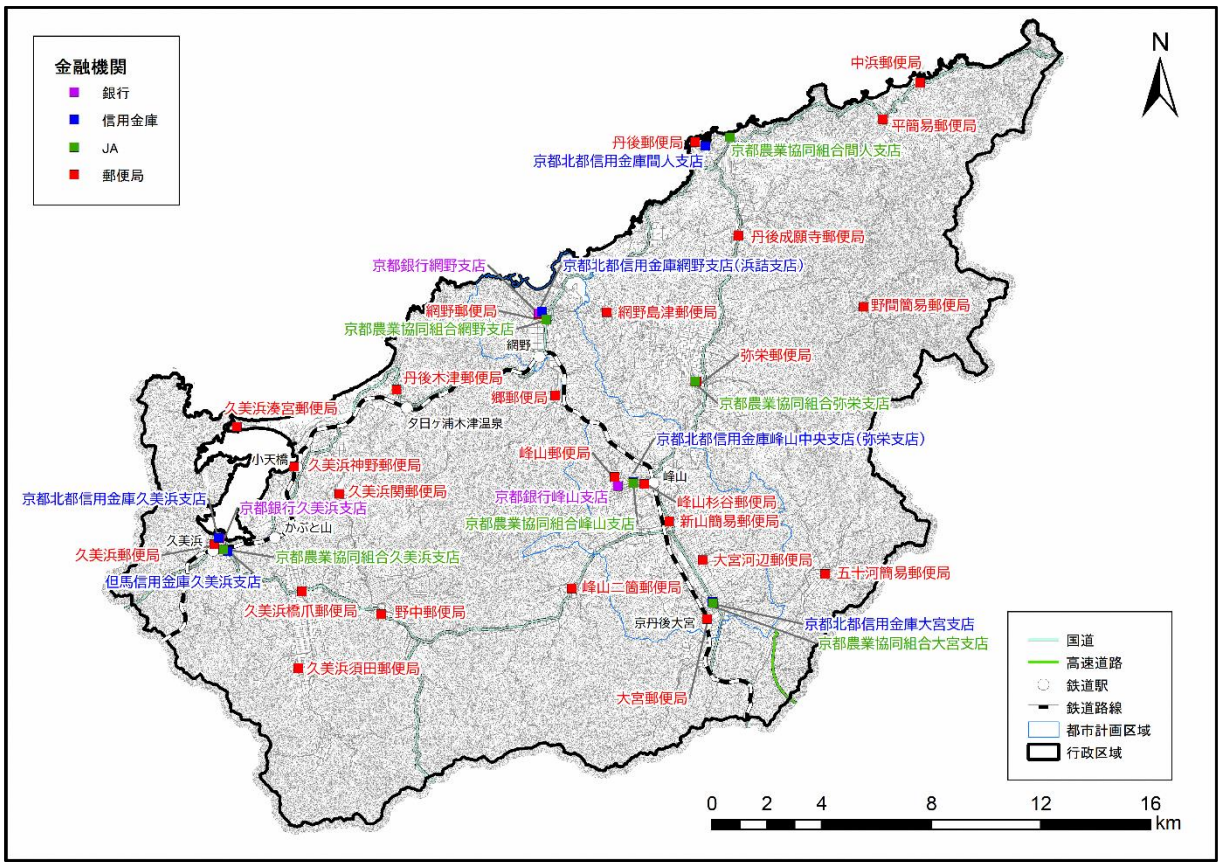
7．都市機能（子育て支援施設）　資料8　P36



7．都市機能（官公庁等公共施設）　資料8　P38



7．都市機能（金融機関）　資料8　P40



資料9関係

市民アンケート調査結果の概要

資料9 P1

■ 調査対象者： 18 歳以上の市民 3,000 人

■ 調査方法： 郵送配布、郵送回収（Web による回答併用）

■ 回収状況：820 通（回収率 27.3%）
※郵送 592 通 Web228 通

■ 設問内容
・定住意向
・通勤や買い物などの利用施設
・市や地域の魅力や将来像
・現状の満足度と今後の重要度
・市民協働のまちづくり
・自由意見

【結果概要】 資料9 P3

■ 定住
・市内の定住意向が全体では81.7%。
・10・20 代は49.3%（他市町村に移りたい比率が他の年代より高い）。
（主な理由は進学や就職。）

■拠点形成（都市機能）
・買い物や飲食は、峰山国道交差点周辺が利用されている。
・医療や福祉、公共サービスなどは、市民局周辺が利用される傾向。
・拠点周辺には、食料品店舗やショッピングセンター、日用品店舗等の商業施設を望む声が多い。次いで医療施設が望まれている（各地域共通の傾向）。

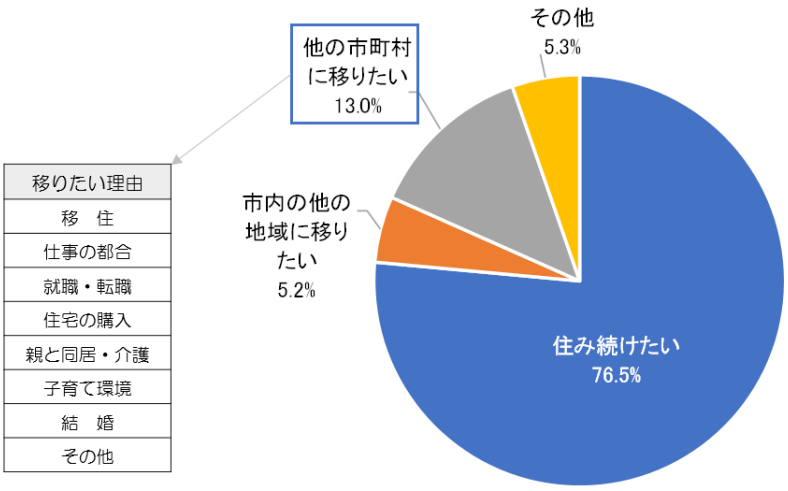
■身近な生活環境への評価（満足度と重要度） 資料9 P4
・「重要度は高いが、満足度が低い」重要な分野
「道路・交通分野」「市街地分野」「防災・防犯分野」
…世代別、地域別ともに傾向が類似する。
・現状の満足度
世代別：若い世代では市平均に比べ高く、世代が上がるほど低下傾向。
地域別：網野、丹後、久美浜地域では低い傾向。

■市の魅力と今後の方向性
・市の魅力 ：「自然環境の豊かさ」をあげる人が多い
・めざす方向 ：「山・里・海など自然の風景が美しいまち」をあげる人が最も多い。
…各世代ともに傾向が類似する。

3．調査結果の概要　資料9　P5

- 市内の定住意向は、８割以上。
- 他の市町村に移りたい理由　移住、仕事の都合、就職・転職など。

定住意向



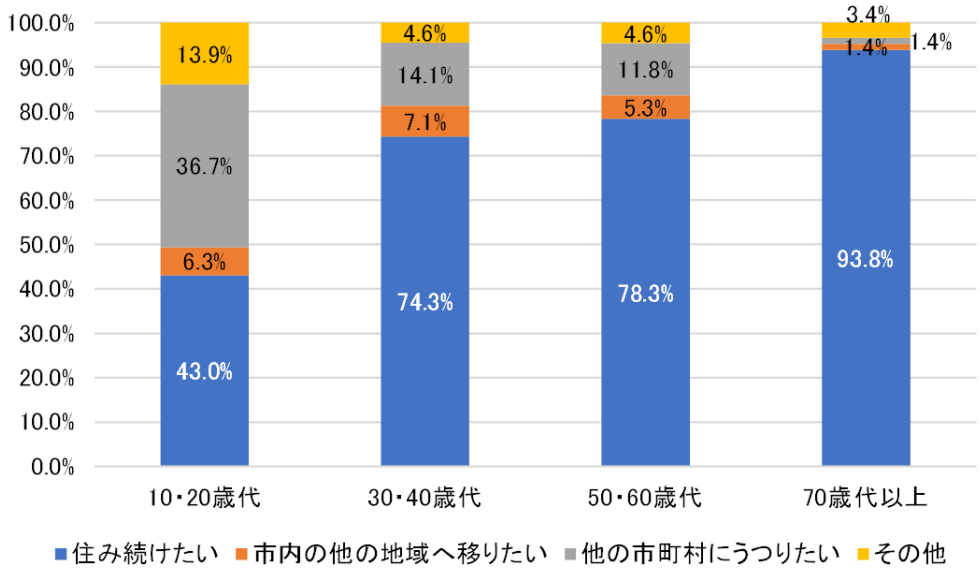
回答者の年代

回答年代	回答割合
10歳代	4.4%
20歳代	5.6%
30歳代	14.7%
40歳代	15.8%
50歳代	19.0%
60歳代	22.0%
70歳以上	18.6%

5

資料9　P6

■定住意向（世代別）

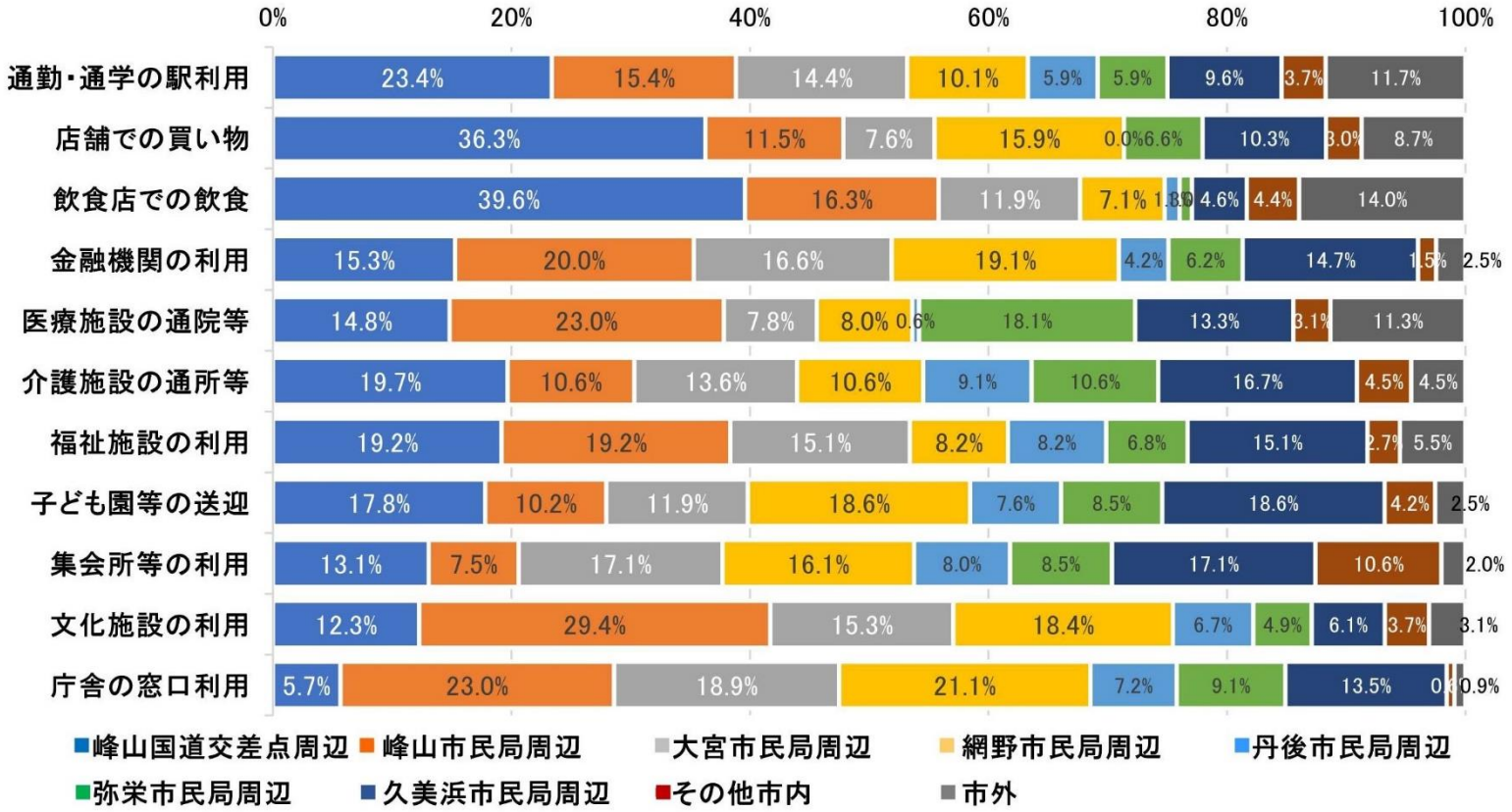


6

■日常の行動や利用施設の行き先（市全体）

資料9 P7

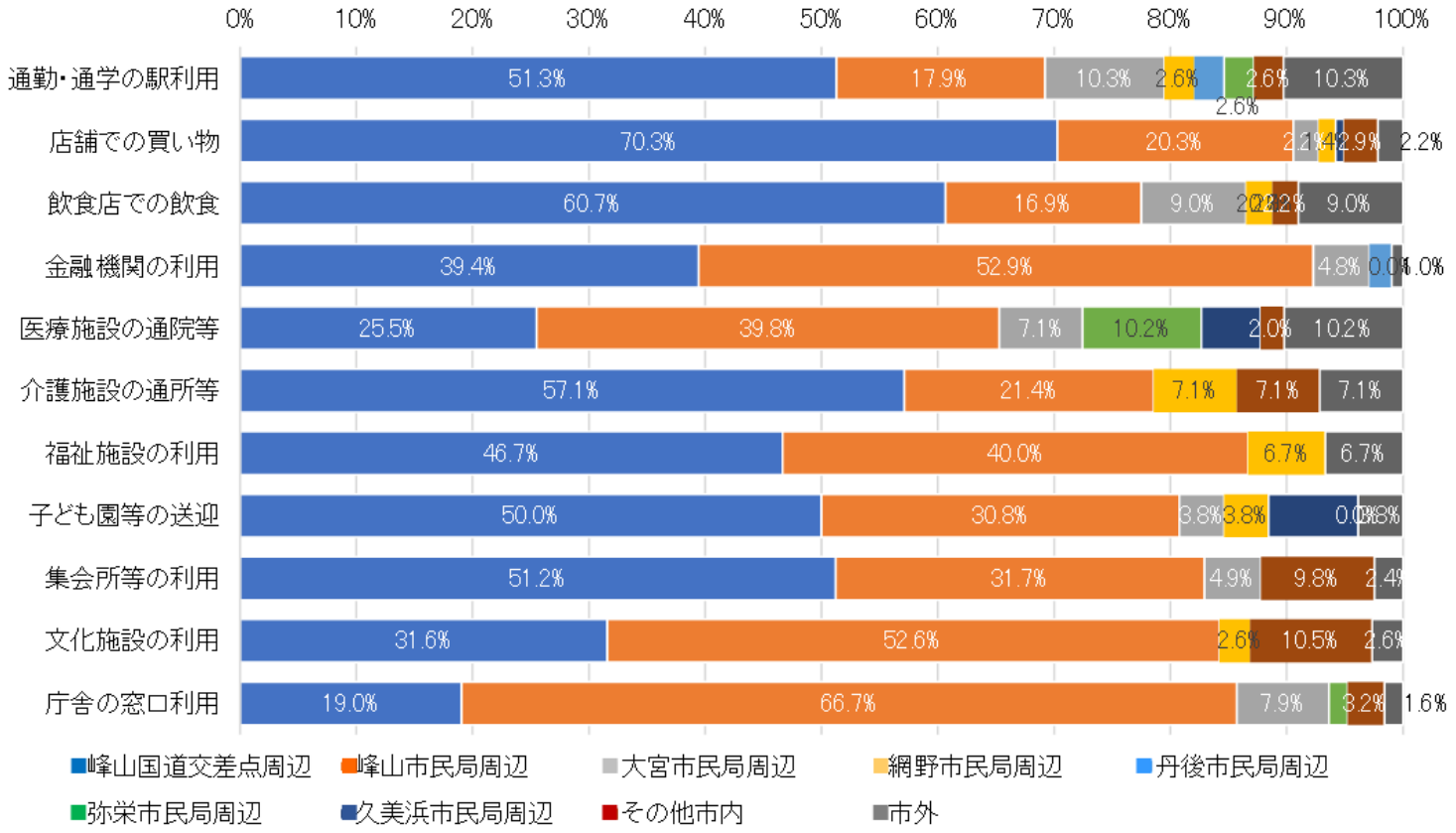
- 買い物や飲食店は、峰山国道交差点付近（都市拠点）での利用が多い。
- 他の施設等は、市民局周辺（地域拠点）での利用が多い。



■日常の行動や利用施設の行き先（峰山町居住者）

資料9 P8

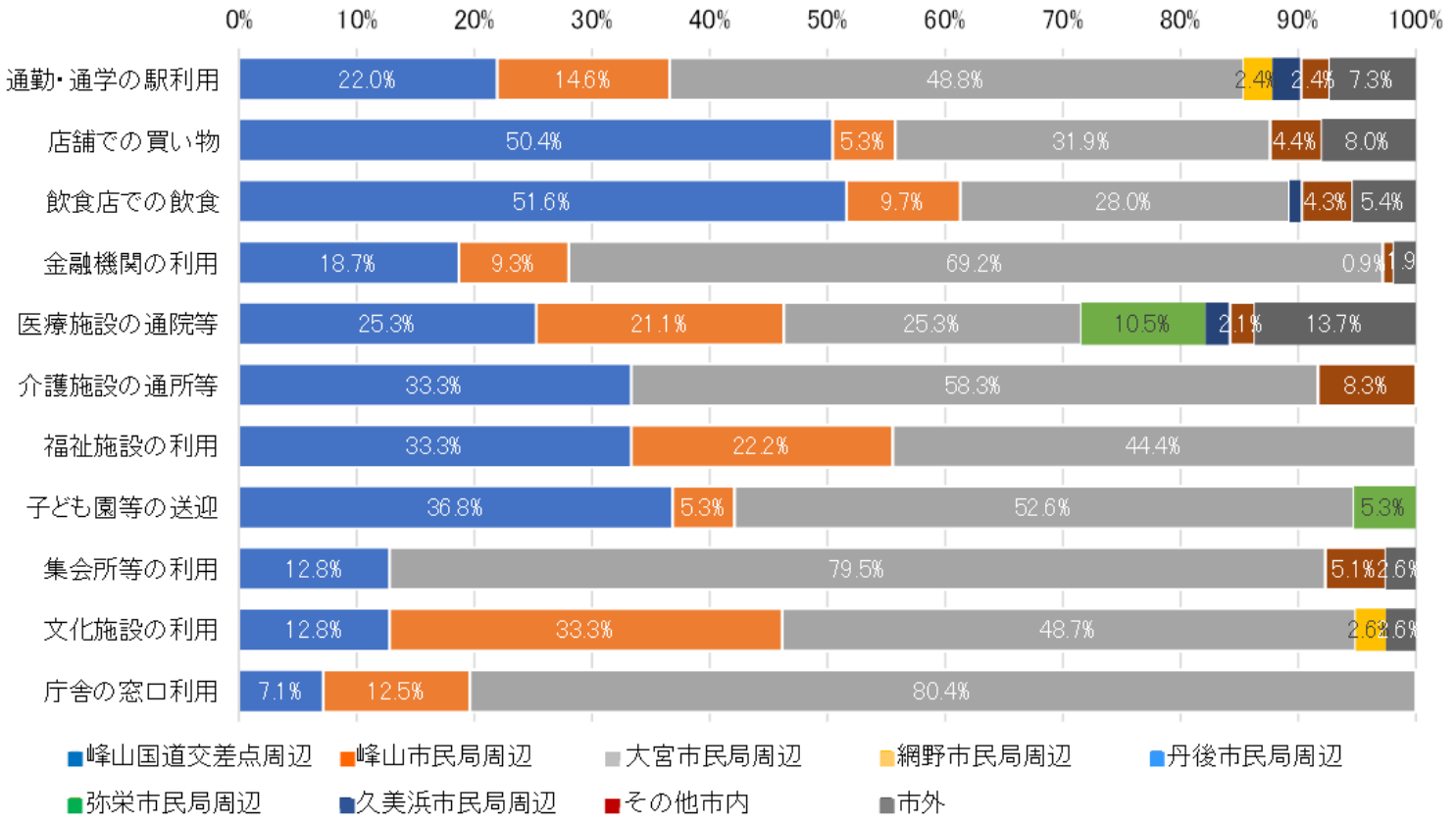
- 全体的に峰山国道交差点周辺の利用割合が高く、次いで峰山市民局周辺を利用している。
- 国道交差点周辺では、買い物、飲食店、介護施設の利用が特に多く、峰山市民局周辺では、庁舎、金融機関、文化施設の利用が多い。



■日常の行動や利用施設の行き先（大宮町居住者）

資料9 P9

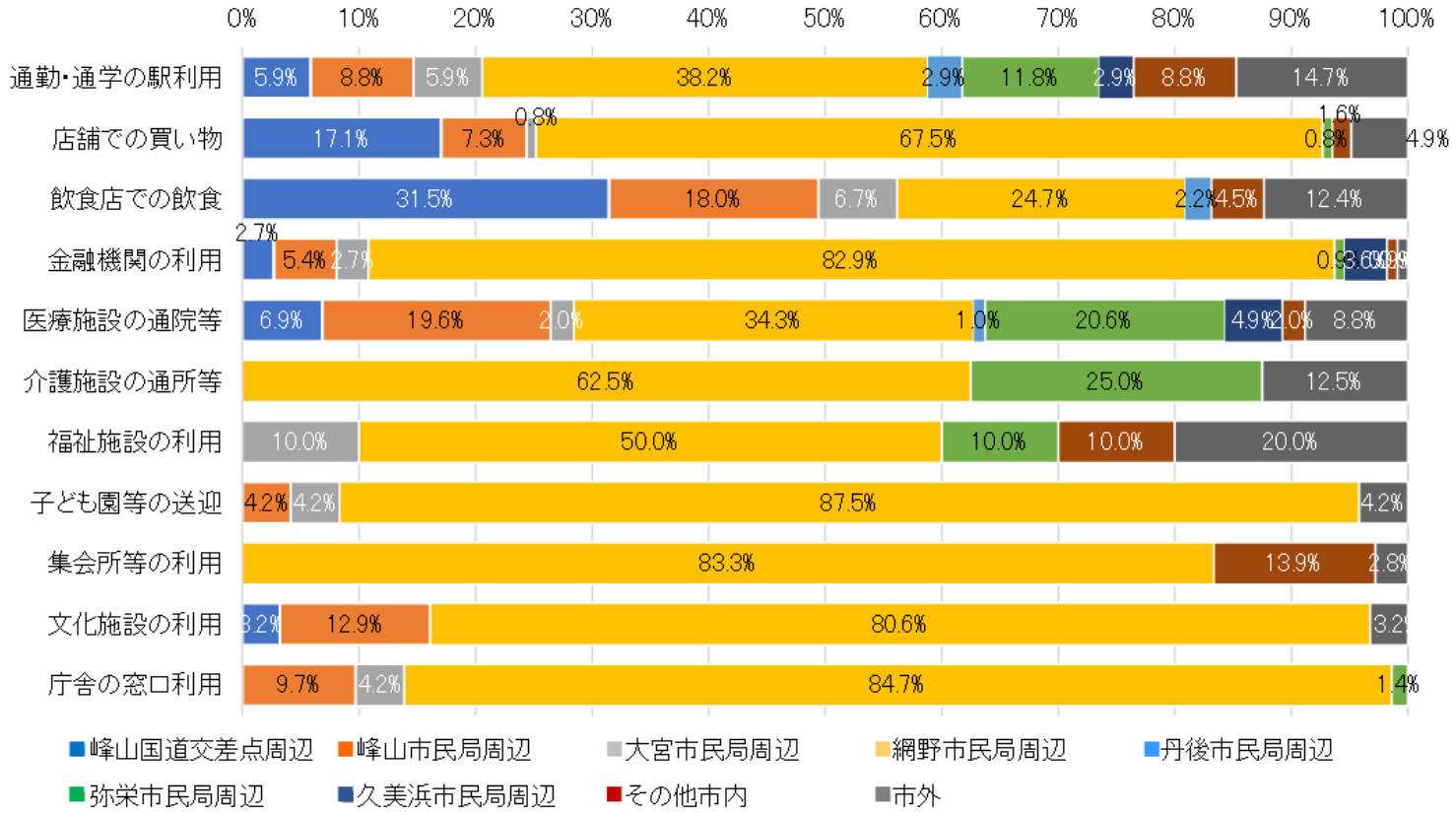
- 全体的に大宮市民局の利用割合が高く、次いで峰山国道交差点が多い。
- 大市民局周辺では、庁舎、集会所、金融機関の利用が特に多く、国道交差点周辺では、買い物、飲食店の利用が多い。



■日常の行動や利用施設の行き先（網野町居住者）

資料9 P10

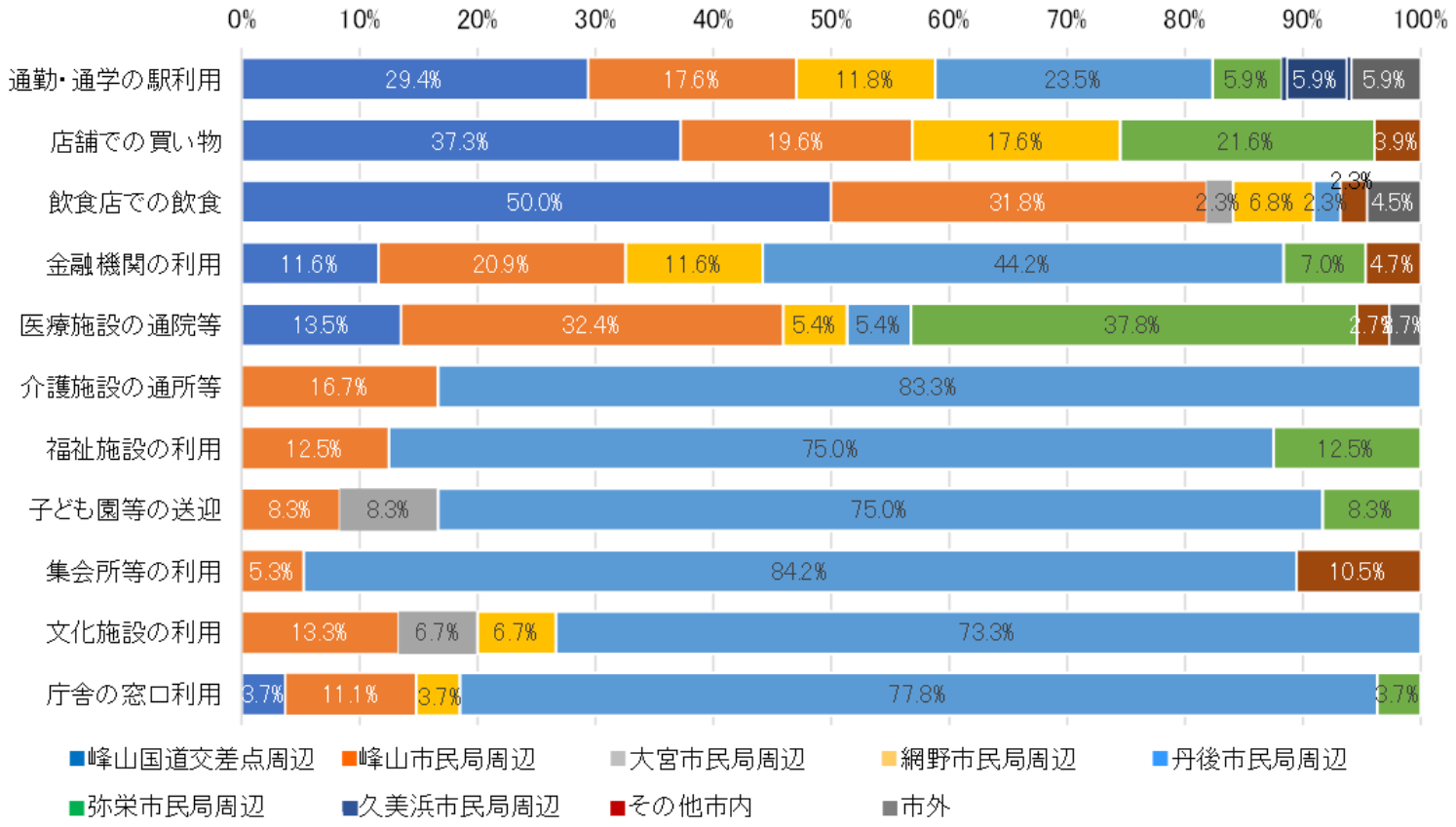
- 全体的に網野市民局の利用割合が高い。
- 網野市民局周辺では、子ども園等の送迎、庁舎、集会所等の利用が特に多い。
- 飲食店利用は、国道交差点周辺が網野市民局周辺を上回っている。
- 福祉施設利用は、市外（豊岡市）利用の割合も若干高い。



■日常の行動や利用施設の行き先（丹後町居住者）

資料9 P11

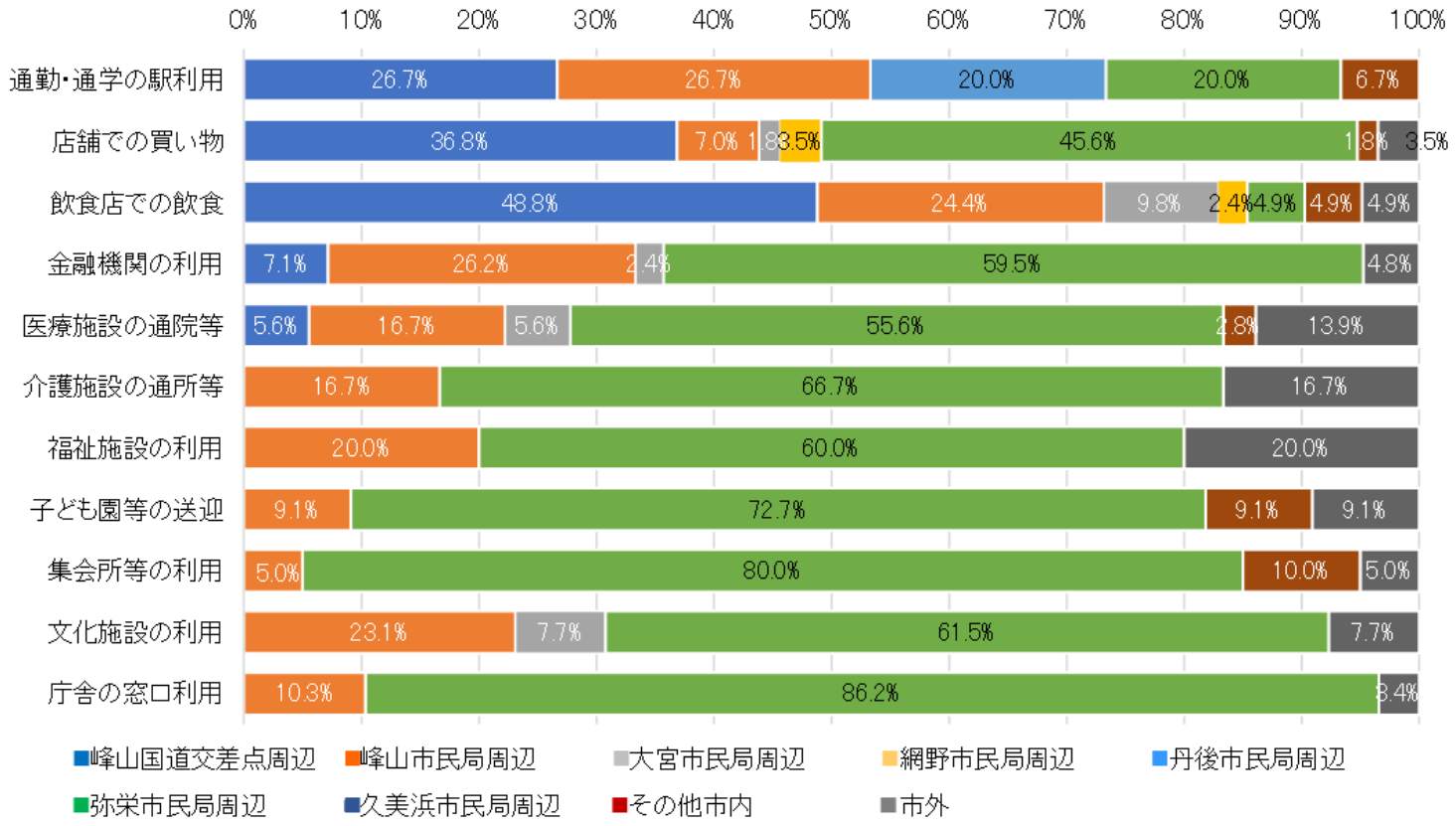
- 丹後市民局周辺の利用割合が高い。
- 国道交差点・峰山市民局周辺利用も一定程度みられる。
- 丹後市民局周辺では、集会所、介護施設、庁舎の利用が特に多く、国道交差点周辺は買い物・飲食店、峰山庁舎周辺は医療施設の利用が多い。



■日常の行動や利用施設の行き先（弥栄町居住者）

資料9 P12

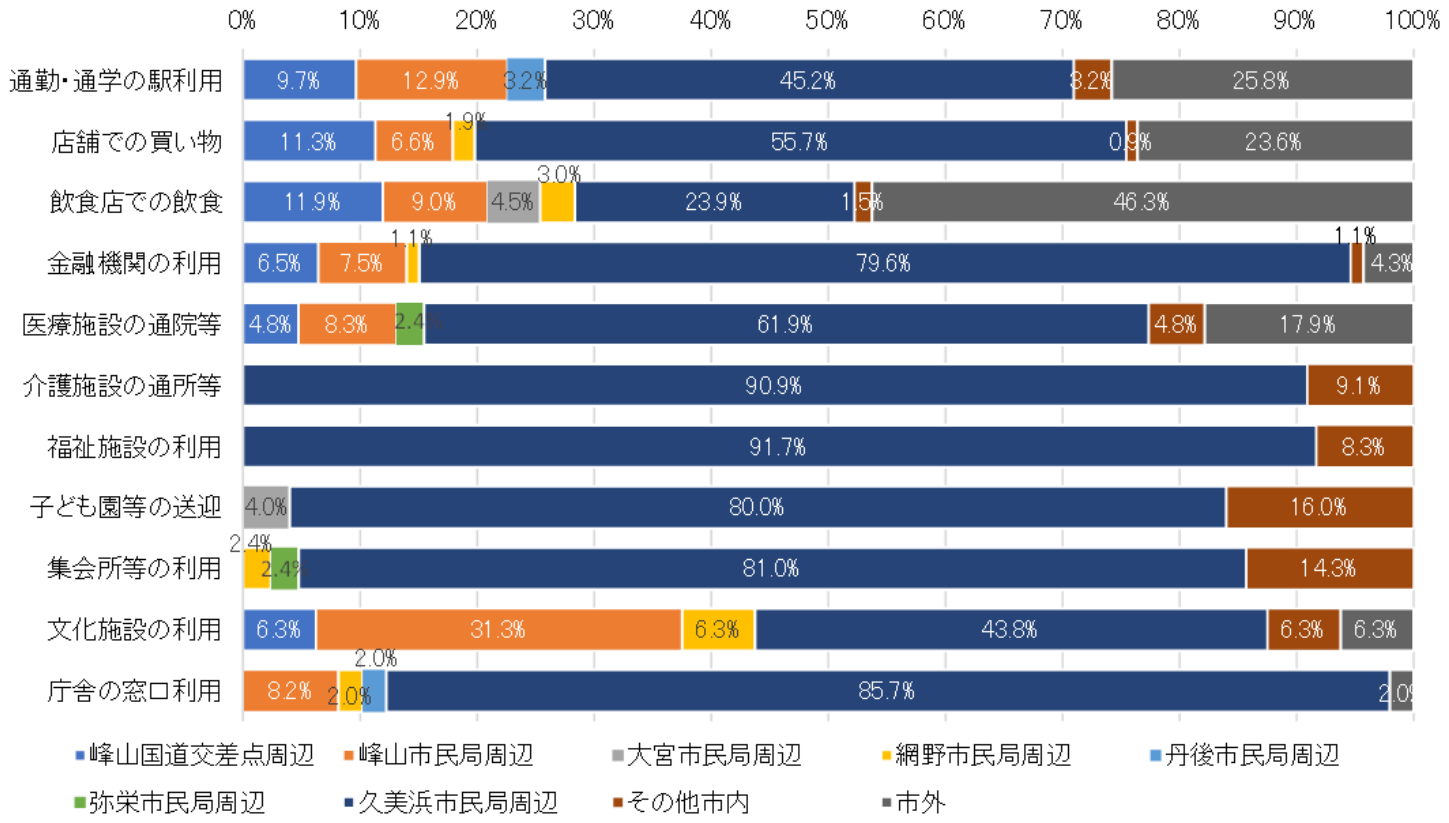
- 弥栄市民局周辺利用が最も多く、次いで国道交差点・峰山市民局周辺が多い。
- 弥栄市民局周辺では、庁舎、集会所、子ども園等の送迎が特に多く、駅利用、買い物、飲食などは峰山国道交差点周辺利用が多い。
- 介護、福祉は、市外（宮津市）利用の割合も比較的高い。



■日常の行動や利用施設の行き先（久美浜町居住者）

資料9 P13

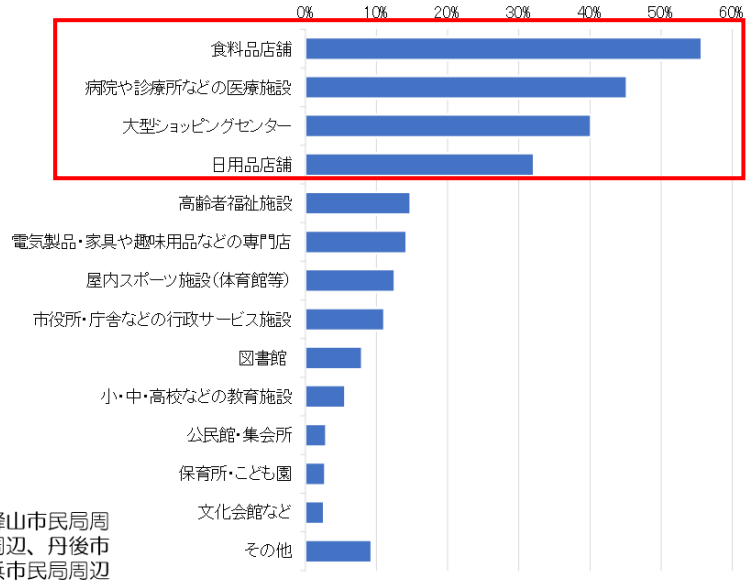
- 全体的に久美浜市民局周辺の利用割合が高い。
- 駅利用、買い物、飲食などは、市外（豊岡市）利用の割合も高く、飲食店利用は久美浜市民局周辺を上回っている。



■拠点に必要な施設（市全体）

資料9 P14

● 拠点周辺に今後必要な施設は、食料品店舗を挙げた人が最も多く、次いで医療施設、大型ショッピングセンターとなっている。



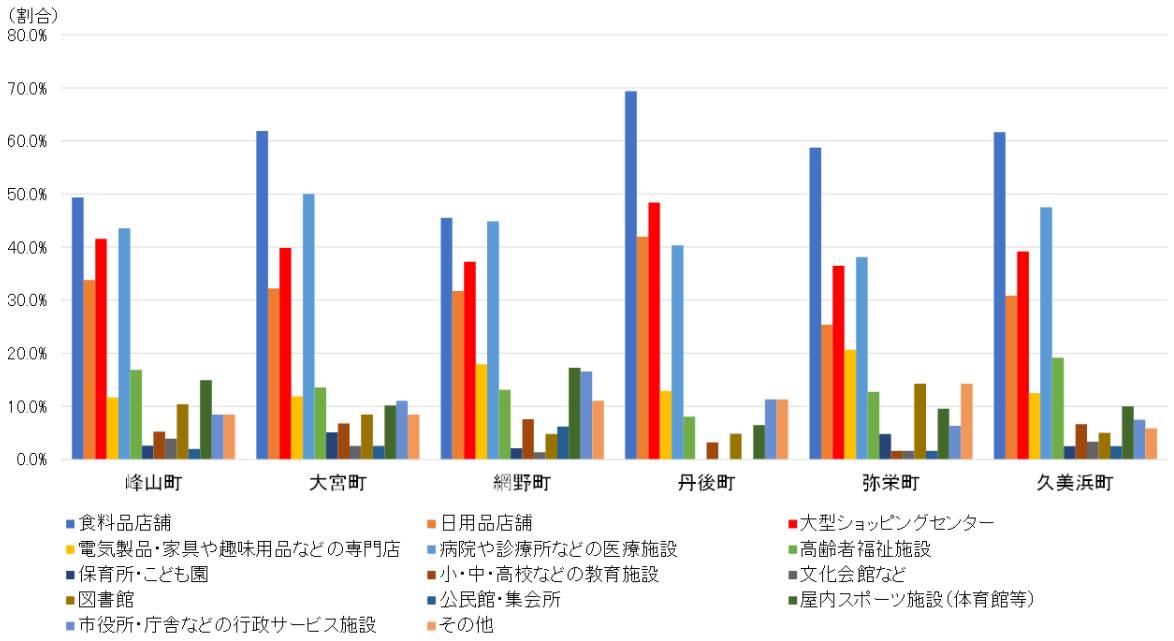
拠点周辺：峰山国道交差点周辺、峰山市民局周辺、大宮市民局周辺、網野市民局周辺、丹後市民局周辺、弥栄市民局周辺、久美浜市民局周辺

14

資料9 P15

■拠点に必要な施設（６町別）

● ６町共に食料品店舗を挙げた人が最も多く、次いで医療施設となっている。

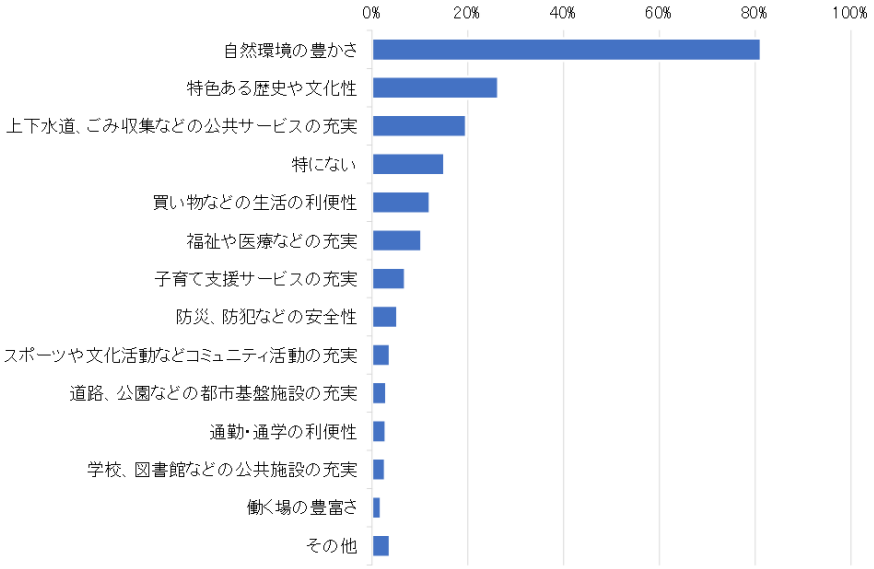


15

資料9 P16

■京丹後市の魅力（市全体）

- 京丹後市の魅力は、８割を超える方が「自然環境の豊かさ」を挙げている。
- 次いで、「特色ある歴史や文化性」、「上下水道、ごみ収集などの公共サービスの充実」を挙げている。

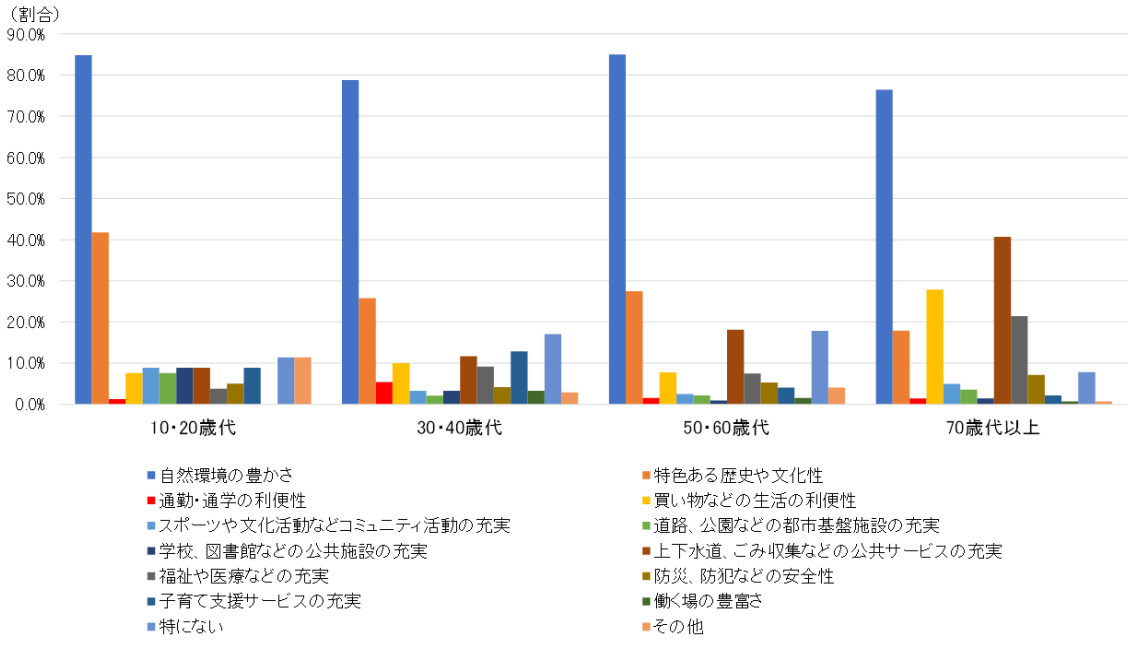


16

資料9 P17

■京丹後市の魅力（世代別）

- 世代共通で、「自然環境の豊かさ」を挙げた人が突出している。

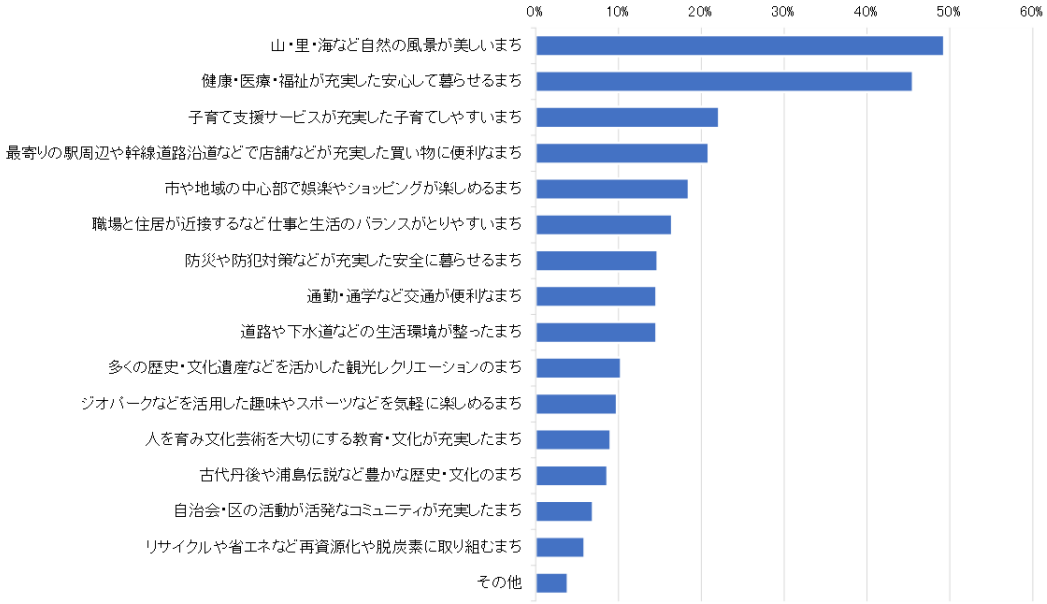


17

■めざす方向（市全体）

資料9 P18

- どのようなまちを目指していくことが望ましいか
  - 「山・里・海など自然の風景が美しいまち」と「健康・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまち」が特に多くみられる。

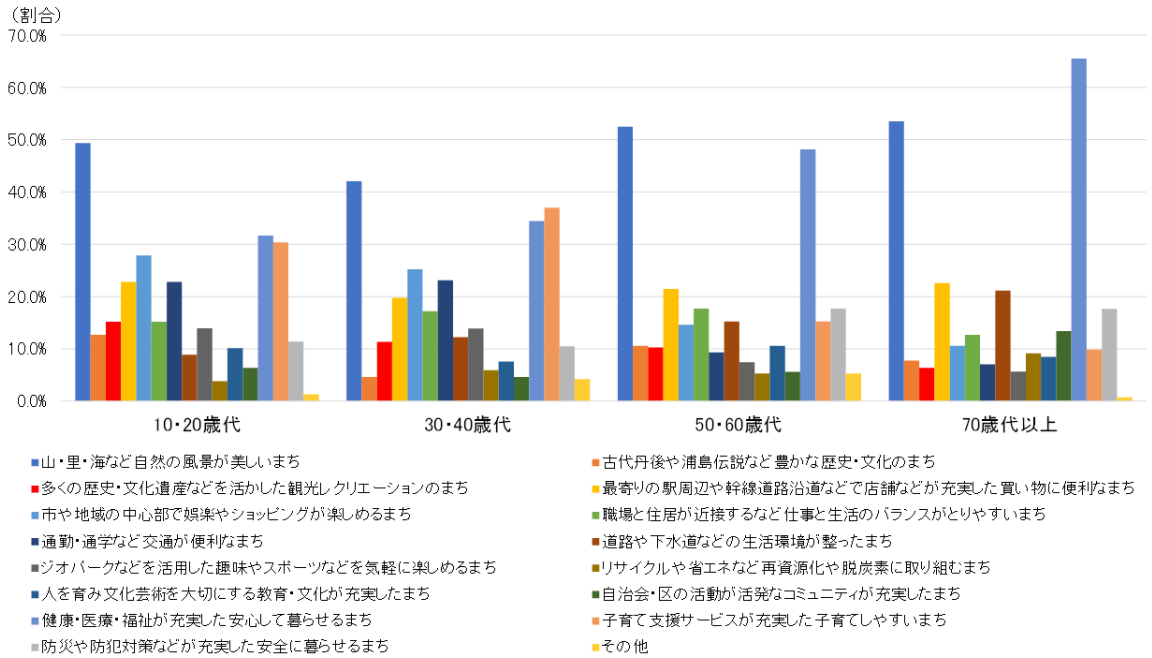


18

資料9 P19

■めざす方向（世代別）

- 世代共通で、「山・里・海など自然の風景が美しいまち」をあげた人が多い
- 30・40代は「子育て支援サービスが充実した子育てしやすいまち」、50・60代は「健康・医療・福祉が充実した安心して暮らせるまち」の回答も多い。



19

資料9 P20

■身近な生活環境に対する満足度(市全体)　満足度が低い分野(10項目)

○道路交通分野

・運行本数の維持など鉄道サービスの確保

・路線やバス停などバスサービスの充実

○公共施設等

・買物、金融などの民間施設と公共施設が近くにまとまって立地する市街地

○市街地

・各町の中心商業地の再生

・その他鉄道駅周辺の商店街などの再生

・身近な店舗の充実

○住宅

・工場など産業地の開発・誘導

・未利用地の有効利用

・住宅の建て替え・改修の支援

・高齢者や障害者向けリフォームの支援

・空き家住宅の活用など中古住宅の流通促進

資料9 P21

■身近な生活環境に対する重要度(市全体)　重要度が高い分野(10項目)

○道路交通分野

・身近な生活道路の整備

・道路舗装など適切な管理の充実

・カーブミラーなど交通安全施設の充実

○市街地

・災害の危険性の高い市街地の改善

○防災･防犯

・建物の耐震化や不燃化の促進

・地震災害などによる被害の軽減や救助体制の充実

・水害やがけ崩れ対策の充実

・防災マップや避難マニュアルなどの情報提供

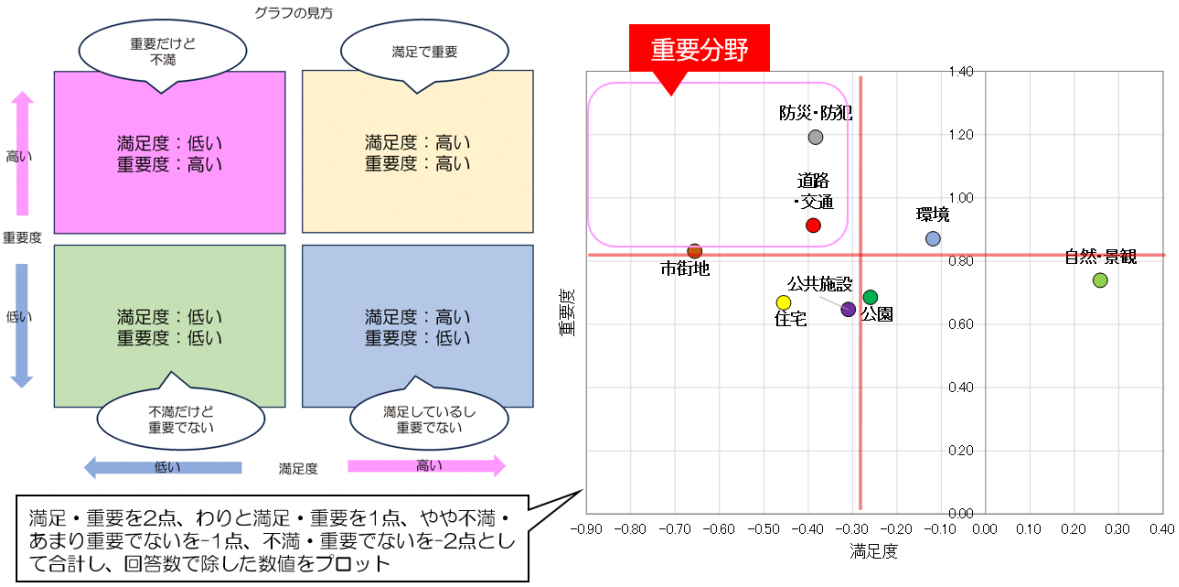
・地域防災・防犯活動への支援

・防犯灯の充実

■満足度と重要度（市全体）

資料9 P22

- 「重要度は高いが、満足度が低い」項目が重要な分野
  - 「道路・交通」「市街地」「防災・防犯」が該当



■自由意見概要

資料9 P28

1 公共交通（バス、鉄道、デマンド等）

本数を増やしてほしい、運行ルートを見直してほしいという要望が多くみられた。
特に、市内の主要施設へのアクセス改善や、地域住民の足となるデマンド交通の利便性向上。

2 生活環境（ごみ処理、上下水道、防災、防犯、道路維持、公園等）

ごみ処理の改善、道路の整備・維持、防犯カメラの設置、公園の維持管理、上下水道の整備などが挙げられている。

3 福祉（子育て、高齢者、障がい者等）

子育て支援の拡充、高齢者支援の充実、障がい者支援の強化に関する意見。
医療費助成、保育サービスの充実、介護施設の増設、地域での交流の場の確保など。

4 その他

地域の活性化、情報発信の強化、行政サービスの効率化、市民参加の促進など、市政全般に関すること。

資料9 P29

その他の分野（10件以下）

・観光（観光振興、観光客誘致、観光施設整備等）
・市政運営（財政、広報、情報公開、市民参加等）
・教育・文化（学校教育、社会教育、生涯学習、文化財保護等）
・産業振興（農業、漁業、商工業、企業誘致等）
・健康（健康増進、医療体制、食育等）
・安心安全（防犯、交通安全、防災対策等）

資料10関係

京丹後市都市計画マスタープラン（骨子イメージ）

資料 10 P2

○対象区域

市全域

○計画期間

10年（令和8年～令和17年） おおむね20年先をみとおし

○都市づくりの課題（例） 資料 10 P3

・ 拠点における都市機能と連携の強化・充実
・ 道路・公共交通ネットワークの充実
・ 居住環境の向上
・ 災害に対する安全確保
・ 計画的な土地利用の誘導

○都市の将来像 資料 10 P4

（第3次総合計画に即し、都市計画等のまちづくりの考え方を設定）

・基本理念 ・都市の将来像 ・将来人口 ・将来都市構造

○都市づくりの基本方針 資料 10 P6

・土地利用の方針
・拠点の方針（都市拠点・地域拠点）
・軸の方針（道路、公共交通）
・生活環境の方針（公園、上下水道・河川、その他公共施設、住宅地・集落地の取組方針）
・防災の方針
・自然・景観の方針

○地域別構想 資料 10 P8

・地域づくりの方針（6地域）

○計画実現に向けた方策

・協働のまちづくりによる計画の実現
・計画の進行管理と見直し

資料8関係

京丹後市の現状と課題概要

10. 主要課題

①拠点における都市機能の強化　資料8 P52

- 都市拠点の機能強化、拠点間の機能分担と交通ネットワークの充実
- 地域資源を活かした魅力ある都市及び地域拠点の形成
- 広域交通を活かした産業の振興と雇用の確保

②道路・公共交通ネットワークの充実　資料8 P53

- 高速道路の整備による観光・物流機能等の向上
- 鉄道とバスの連携やライドシェアの市域への展開など、公共交通の充実と利用促進
- デジタル技術を活用した自動運転、MaaS（各交通モードをアプリを通じシームレスに接続）等の導入検討

③居住環境の改善　資料8 P54

- 空き家の適切な管理と活用
- 安全で快適な道路環境の向上
- 水と緑豊かな生活環境の向上

④災害に対する安全確保　資料8 P55

- 土砂災害対策の促進
- 浸水対策の推進
- 避難対策の充実、防災意識の向上

⑤計画的な土地利用の誘導　資料8 P56

- 山林、農地等の自然環境の保全・活用
- 都市計画区域内における用途地域等の指定検討
- 国道312号沿道等における土地利用の計画的誘導